



ぶっく★まーく

# 編集スタッフのおすすめ



このコーナーでは、情報・図書コーナーの中から、本紙スタッフがピックアップした本を紹介しています。

この他の本も、ぜひご利用ください。※書籍下の番号はセンターでの検索番号です。



[300-1]

## 10代から身につけたい ギリギリな自分を助ける方法

2020年 KADOKAWA  
井上 祐紀 (著)

まず気づいてほしいことは、自分は守られるべき存在ということ。もともとの自分をおもいだすことが、解決への一歩に。わかってくれる人を見つけてつながろう。(ぽっと)



[300-10]

## 踊る産科女医

2011年 小学館  
吉川 景都 (著)、宋 美玄 (原案・監修)

主体的に自分自身の妊娠出産を見つめ、女性としての人生を充実させるため、産科をうまく使おう。生きていくために必要な知識を楽しく、真剣にお伝え。(ぽっと)

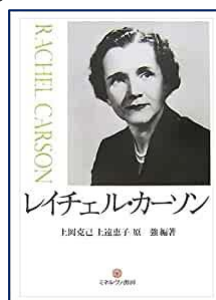


[700-1]

## 生きづらさに立ち向かう

2019年 岩波書店  
前川 喜平、三浦 まり、福島 みずほ (著)

なぜこんなにも生きづらいのか。元文部科学省官僚、政治学者、現職国会議員がその根源と変革の可能性について語りあった。生きやすい社会をつくるための参考に。(みっと)



[1100-2]

## レイチェル・カーソン

2007年 ミネルヴァ書房  
上岡 克己、上遠 恵子、原 強 (編・著)

初めて農薬の危険性に警鐘を鳴らした「沈黙の春」の著者「レイチェル・カーソン」をより深く知ることができる一冊。今、私たちがすべきことは何か？改めて考える。(ルナ)



[1100-3]

## 最貧困女子

2014年 幻冬舎  
鈴木 大介 (著)

家族の縁・地域の縁・社会制度の縁から見放された若年女性たちが陥る最貧困生活への罫。その日の糧を稼ぐために、心身の痛みを耐える彼女たちの心の声が聞こえてくる。(みっと)



[2000]

## へんなの

2004年 自由国民社  
中山 千夏 (著)、山下 勇三 (絵)

おんななののに…。へんなの。おばさんと海に潜って、お魚と会って話して…なるほど！ LGBT・TQについて易しく学べる絵本。親子でどうぞ！ (ルナ)

### 新着図書情報(一部抜粋)

図書名	検索番号	作者	出版社
認知症かもしれない家族のためにできること	200-5	千葉 京子、鷹野 朋実 (編)	弘文堂
空気が読めなくてもそれでいい。非定型発達の子にセツ	300-2	細川 貂々、水島 広子 (著)	創元社
みんな自分らしくいるためのはじめてのLGBT	300-5	遠藤 まめた (著)	筑摩書房
アニメーションの女王たち ディズニーの世界を変えた女性たちの知られざる物語	400-1	ナザリア・ホルト (著)、石原 薫 (訳)	フィルムアート社
銀の夜	1200-2	角田 光代 (著)	光文社

### 編集後記

2年ほど伸ばしていた髪をヘッドネーション(小児がんの子どもたちへ寄付するウィッグに使用される髪を寄付すること)にした。先が見えないときであってもささやかな目標二取り組み達成できてよかった。髪を切ることでさっぱりした気分。新たな目標を立てて取り組んでいきたい。100号まで?!ぶっく★まーくが続きますように。(ぽっと)